

2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 一正蒲鉾株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 正博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高島 正樹 (TEL) 025-270-7111
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年6月期第3四半期 | 28,592 | △0.0 | 1,724 | 17.0 | 1,686 | 14.0 | 1,168 | 30.8 |
| 2019年6月期第3四半期 | 28,605 | 0.2 | 1,474 | 21.2 | 1,480 | 17.0 | 893 | 36.0 |

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 1,131百万円(85.5%) 2019年6月期第3四半期 609百万円(△12.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年6月期第3四半期 | 63.41 | — |
| 2019年6月期第3四半期 | 48.39 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年6月期第3四半期 | 22,885 | 12,047 | 52.6 |
| 2019年6月期 | 23,698 | 11,042 | 46.6 |

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 12,047百万円 2019年6月期 11,042百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年6月期 | — | — | — | 7.00 | 7.00 |
| 2020年6月期 | — | — | — | — | — |
| 2020年6月期(予想) | — | — | — | 8.00 | 8.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年6月期期末の配当8円00銭には、55周年記念配当1円00銭が含まれております。

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|-----|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 36,300 | 2.0 | 1,200 | △8.2 | 1,300 | 3.6 | 630 | △6.4 | 34.15 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年6月期3Q | 18,590,000株 | 2019年6月期 | 18,590,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年6月期3Q | 161,268株 | 2019年6月期 | 164,768株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年6月期3Q | 18,426,982株 | 2019年6月期3Q | 18,456,962株 |

（注）期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）」が保有する当社株式（2020年6月期3Q96,200株、2019年6月期99,700株）が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行（株）（信託E口）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2020年6月期3Q97,950株、2019年6月期3Q67,970株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (四半期連結損益計算書関係) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年7月1日～2020年3月31日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続くなかで、全体として緩やかな回復基調が見られたものの、国内では相次ぐ自然災害の発生や消費税増税、海外では米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題など不透明感が継続するなか、直近では新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により経済活動は停滞し、多くの経済指標は大きくマイナスを示すなど先行きの見通しは予断を許さない状況となっております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不要不急の外出自粛などの行動変容が求められるなかで、巣ごもり消費が増加したり、また不安心理から一部の日用品については買い溜めが発生するなど今までにない消費行動も起こっており、今後の需要動向を予測することが難しい状況となっております。また、原材料の高騰や人手不足を背景とした人件費の増加などコストの上昇が見込まれており、依然として当社グループを取り巻く経営環境には厳しいものがあります。

このような状況のもと、当社グループでは、“ICHIMASA30ビジョン”（30年後の目指す姿）を目指し、2016年7月から2021年6月までの5ヶ年の中期経営計画を策定し、「成長基盤創り」と「お客さまが中心」を基本方針とし経営課題に取り組んでおります。

また、地球環境の維持は企業活動の持続的な発展・成長のためには不可欠であり、2015年9月に国連総会で採択された17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」の達成を目指し、当社グループもステークホルダーの皆さまと協力しながら、社会のサステナブルな課題の解決に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高285億92百万円（前年同四半期比12百万円（0.0%）の減少）、営業利益は17億24百万円（前年同四半期比2億50百万円（17.0%）の増加）、経常利益は16億86百万円（前年同四半期比2億6百万円（14.0%）の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億68百万円（前年同四半期比2億75百万円（30.8%）の増加）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

主力商品群の「カニかま」は健康長寿の食材として、原料の白身魚のたんぱく質の効能が昨年にメディアに取り上げられ、健康志向が続くなかで販売が伸長しております。また、年末のおせち商品につきましては、幅広いニーズに応えた純国産原料を100%使用した「純」シリーズや甘さを抑えた伊達巻などが好調に推移いたしました。

また、おでん商材につきましては、例年と比べて寒気が弱く、全国的に気温が高めに推移したため「揚物」は軟調に推移しましたが、「レトルトおでん」については新型コロナウイルス感染予防のための外出自粛により、内食需要が強まっていることから堅調な売れ行きとなりました。

利益面におきましては、世界的な健康志向の高まりから水産物需要が拡大し、すり身価格の高騰により厳しい状況が続いておりますが、生産効率の向上を目指し、生産ラインの人員配置の効率化や消費エネルギーの削減といったコストダウン活動、原油安によるエネルギー単価の下落などの外部環境により、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は242億91百万円（前年同四半期比1億8百万円（0.4%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は7億76百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）5億28百万円）となりました。

② きのご事業

記録的な暖冬となったことで野菜の生育は順調であった一方、鍋物用野菜の需要は低調のままで、野菜市場価格およびきのご市場価格は軟調に推移いたしました。

生産面におきましては、安定栽培に努めるとともに効率的な生産を目指し取り組んでまいりました。販売面におきましては、まいたけの需要喚起を目指しメニュー提案などの販売促進を強化した結果、売上高は前年同四半期を下回ったものの、利益は前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は39億34百万円(前年同四半期比1億17百万円(2.9%)の減少)、セグメント利益(営業利益)は8億46百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)8億33百万円)となりました。

③ その他

(運送事業・倉庫事業)

運送事業におきましては、既存のお客さまとの取引深耕や新規輸送便の開始により、売上高・利益とも前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、新規入庫量が前年実績を下回ったことに伴い、保管在庫量も低調に推移した結果、売上高・利益とも前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は3億66百万円(前年同四半期比3百万円(0.8%)の減少)、セグメント利益(営業利益)は91百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)1億2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は74億95百万円(前連結会計年度末比2億56百万円の減少)となりました。

これは主に現金及び預金の増加、商品及び製品ならびに仕掛品の減少によるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は153億90百万円(前連結会計年度末比5億55百万円の減少)となりました。

これは主に有形固定資産の減価償却の進行によるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は67億30百万円(前連結会計年度末比17億1百万円の減少)となりました。これは主に支払手形及び買掛金ならびに未払金及び未払費用の減少によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は41億6百万円(前連結会計年度末比1億16百万円の減少)となりました。これは主に社債の増加及び繰延税金負債ならびに長期借入金の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により120億47百万円(前連結会計年度末比10億5百万円の増加)となり、自己資本比率は前連結会計年度末の46.6%から52.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の第3四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年8月9日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 977,988 | 1,513,576 |
| 売掛金 | 3,380,818 | 3,317,667 |
| 商品及び製品 | 848,780 | 537,502 |
| 仕掛品 | 706,957 | 401,528 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,743,387 | 1,543,184 |
| その他 | 95,135 | 182,632 |
| 貸倒引当金 | △739 | △598 |
| 流動資産合計 | 7,752,328 | 7,495,494 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,814,084 | 5,614,285 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,855,600 | 2,577,540 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 143,085 | 136,357 |
| 土地 | 3,267,083 | 3,267,083 |
| リース資産(純額) | 240,807 | 219,809 |
| 建設仮勘定 | 5,525 | 27,086 |
| 有形固定資産合計 | 12,326,186 | 11,842,163 |
| 無形固定資産 | 435,916 | 510,065 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,550,998 | 2,431,904 |
| その他 | 657,265 | 630,503 |
| 貸倒引当金 | △24,500 | △24,500 |
| 投資その他の資産合計 | 3,183,764 | 3,037,907 |
| 固定資産合計 | 15,945,867 | 15,390,136 |
| 資産合計 | 23,698,196 | 22,885,630 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,298,109 | 1,252,743 |
| 短期借入金 | 3,032,538 | 2,741,386 |
| 未払法人税等 | 372,618 | 454,979 |
| 賞与引当金 | 63,712 | 249,804 |
| 子会社整理損失引当金 | — | 58,532 |
| 未払金及び未払費用 | 1,869,294 | 1,510,314 |
| その他 | 796,348 | 463,210 |
| 流動負債合計 | 8,432,621 | 6,730,970 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 160,000 | 400,000 |
| 長期借入金 | 3,167,105 | 3,094,572 |
| 役員退職慰労引当金 | 28,670 | 30,641 |
| 役員株式給付引当金 | 61,543 | 69,485 |
| 繰延税金負債 | 399,772 | 129,308 |
| その他 | 406,272 | 382,992 |
| 固定負債合計 | 4,223,365 | 4,106,999 |
| 負債合計 | 12,655,986 | 10,837,969 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 940,000 | 940,000 |
| 資本剰余金 | 650,000 | 650,000 |
| 利益剰余金 | 8,281,781 | 9,320,531 |
| 自己株式 | △126,375 | △122,501 |
| 株主資本合計 | 9,745,406 | 10,788,030 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,122,758 | 1,061,240 |
| 為替換算調整勘定 | 174,045 | 198,390 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,296,803 | 1,259,631 |
| 純資産合計 | 11,042,210 | 12,047,661 |
| 負債純資産合計 | 23,698,196 | 22,885,630 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 28,605,164 | 28,592,706 |
| 売上原価 | 20,976,841 | 20,613,983 |
| 売上総利益 | 7,628,322 | 7,978,723 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,153,757 | 6,254,057 |
| 営業利益 | 1,474,565 | 1,724,666 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 825 | 221 |
| 受取配当金 | 15,038 | 15,502 |
| 受取賃貸料 | 14,523 | 20,441 |
| 受取手数料 | 18,106 | 23,343 |
| 売電収入 | 11,345 | 13,651 |
| 雑収入 | 34,119 | 17,265 |
| 営業外収益合計 | 93,958 | 90,425 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 33,433 | 28,823 |
| 為替差損 | 20,423 | 45,280 |
| 持分法による投資損失 | 25,293 | 13,358 |
| 休止固定資産減価償却費 | — | 28,374 |
| 雑損失 | 9,192 | 12,491 |
| 営業外費用合計 | 88,342 | 128,328 |
| 経常利益 | 1,480,181 | 1,686,763 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 6,890 | 96,453 |
| 特別利益合計 | 6,890 | 96,453 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 3,688 | 848 |
| 投資有価証券評価損 | — | 43,031 |
| 子会社整理損 | — | ※1 34,929 |
| 子会社整理損失引当金繰入額 | — | ※1 58,532 |
| 特別損失合計 | 3,688 | 137,342 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,483,384 | 1,645,874 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 695,849 | 729,484 |
| 法人税等調整額 | △105,554 | △252,033 |
| 法人税等合計 | 590,294 | 477,450 |
| 四半期純利益 | 893,089 | 1,168,423 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 893,089 | 1,168,423 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 893,089 | 1,168,423 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △253,080 | △61,518 |
| 為替換算調整勘定 | △30,545 | 22,627 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 337 | 1,717 |
| その他の包括利益合計 | △283,288 | △37,172 |
| 四半期包括利益 | 609,800 | 1,131,251 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 609,800 | 1,131,251 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 子会社整理損、子会社整理損失引当金繰入額の内容は次のとおりであります。

当社の海外子会社である一正農業科技(常州)有限公司の生産停止に伴う損失額及び見込額を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|--------------------|-----------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 水産 練製品・ 惣菜事業 | きのこ事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,183,238 | 4,052,218 | 28,235,456 | 369,707 | 28,605,164 | — | 28,605,164 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 2,031,862 | 2,031,862 | △2,031,862 | — |
| 計 | 24,183,238 | 4,052,218 | 28,235,456 | 2,401,569 | 30,637,026 | △2,031,862 | 28,605,164 |
| セグメント利益 | 528,591 | 833,347 | 1,361,938 | 102,705 | 1,464,644 | 9,920 | 1,474,565 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額9,920千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|--------------------|-----------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 水産 練製品・ 惣菜事業 | きのこ事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 24,291,625 | 3,934,489 | 28,226,115 | 366,591 | 28,592,706 | — | 28,592,706 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 2,028,784 | 2,028,784 | △2,028,784 | — |
| 計 | 24,291,625 | 3,934,489 | 28,226,115 | 2,395,375 | 30,621,491 | △2,028,784 | 28,592,706 |
| セグメント利益 | 776,303 | 846,956 | 1,623,260 | 91,390 | 1,714,650 | 10,016 | 1,724,666 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益の調整額10,016千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。